

株主のみなさまへ



第163期 報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当(期末配当金)の基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
インターネットホームページ	https://www.tr.mufg.jp/
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.nozawa-kobe.co.jp 不測の事態により電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞・神戸新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お手続き・お問い合わせ先
●お取引の証券会社等の口座で管理されている 当社株式に関する配当金振込指定、単元未満株式 買取請求、住所変更等のお手続き	お取引口座を開設されている証券会社
●未受領の配当金に関するお手続き ●特別口座で管理されている当社株式に関する 配当金振込指定、単元未満株式買取請求、住所 変更等のお手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)

特別口座 について

特別口座では、株式のご売却はできません。
証券会社に口座を開設いただき、お持ちの株式を当該口座に振り替えていただきますと、
株式のご売却が可能となるばかりでなく、お持ちの株式の管理や株式に関するお手続きも
当該証券会社で一括して行えるようになります。

この報告書についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

お問い合わせ <https://www.nozawa-kobe.co.jp/ir/mail.php>



この報告書は、環境に配慮
した植物油インキを使って
印刷しています。

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第163期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の「報告書」をお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

2023年6月



代表取締役社長 野澤 俊也

◀ 当期の取り組みと業績 ▶

2023年3月期の連結業績は前期比増収・減益。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症抑制と経済活動の正常化の両立が進み、緩やかに持ち直しの動きが見られましたが、長期化するウクライナ情勢等による資源価格の上昇や、円安基調によりインフレが進行し、先行き不透明な状況で推移しました。建築材料業界におきましても、原材料・エネルギー価格の世界的な高騰は収まる気配がなく、取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、「やすらぎと安心の創造」のコーポレートメッセージのもと、環境負荷低減と施工現場省力化を実現し社会に貢献するとともに、お客様のニーズに応える商品の拡充を図りました。

当社は、世界共通の課題である気候変動に対する取り組みとして、当社が掲げる温室効果ガス排出削減目標をS B Tイニシアチブ(Science Based Targets initiative)に提出し、2022年12月にS B T認定を取得しました。この度の認定取得により、脱炭素の取り組みをより加速させ、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

新商品については、主力の押出成形セメント板「アスロック」のウッドデザインシリーズの第3弾として、多くのお客様からのご要望を受けて幅900mm品「旺実(おうざね)」を商品化、2022年11月より発売しました。大柄な木目柄によりダイナミックなイメージを際立たせながら、木目の美しさに細部までこだわったデザインに仕上がっております。なお、ウッドデザインシリーズについては、2023年2月より全てのラインアップで工場塗装品対応が可能となり、工期短縮に貢献できるようになりました。また、業界初となるアスロックデザインパネル一体成型45度コーナー「タスロック45度コーナー」を2023年1月に発売しました。製法上困難であったデザインパネル端部に45度の傾斜を施すことが可能となり、施工現場での省力化を実現します。

スレートボードについては、簡単な施工でコンクリート打放し風の内装仕上げが可能な「フレキシブルシート素地シリーズ」に、新意匠「つづれおり」と当社工場で無色の表面コーティングを施した「プレコート」をそれぞれ2023年2月に発売し、ラインアップの充実を図りました。

当連結会計年度における「アスロック」の売上高は、前述の

とおり積極的に新商品を投入するなど、顧客要望の実現に注力しましたが、アスロックの主要ターゲットである宿泊施設・商業ビル着工床面積の低迷が続いていること等から、前期を下回る状況で推移しました。住宅用商品については、高遮音床材・軽量外壁材ともに前期比増収、スレートボードは「フレキシブルシート素地シリーズ」の拡販により売上高は増収となりました。

生産部門では、資源価格高騰が続くなか、事業の収益性の維持・向上のため、NNPS(ノザワ・ニュー・プロダクション・システム)による改善活動を強化し、原材料・エネルギーの使用効率向上等コストダウン活動の推進に加え、お客様視点に立った商品品質の改善に取り組みしました。

管理部門では、従業員の労働意欲及び企業価値向上を目的として、従業員への譲渡制限付株式報酬制度の導入や従業員持株会制度の改定を実施しました。また、先行き不透明な経営環境を踏まえ、年間総額60億円のコミットメントライン契約を継続しました。

マイケミカル事業では、2023年1月開示の「弊社マインマグ製品の使用停止についてのお知らせ」のとおり、マインマグ製品の一部に法令の基準を超える石綿が含まれているおそれが高いことが判明したため、全てのマインマグ製品の出荷を停止しております。現在、関係機関による検査で各製品とも法令の基準を超える石綿の含有の有無について、検査を継続中ですが、お客様の安全を第一に考えて万全を期すために、在庫としてお客様がお持ちの全てのマインマグ製品について自主回収をしております。

海外事業では、中国国内のコロナ禍による断続的な都市封鎖の影響等により、中国における「アスロック」販売は厳しい状況で推移しました。なお、中国で押出成形セメント製品の販売を行う連結子会社「野澤貿易(上海)有限公司」について、中国経済・建築市場の停滞による経営環境悪化を受けて、2022年9月に同社の解散を決議し、現在清算中であります。

これらの結果、品種別売上高については、主力の押出成形セメント板「アスロック」は101億19百万円(前期比12.6%

減少)、住宅用高遮音床材は18億52百万円(前期比4.1%増加)、住宅用軽量外壁材は36億82百万円(前期比31.4%増加)となり、押出成形セメント製品合計では156億54百万円(前期比3.1%減少)に、耐火被覆等は16億34百万円(前期比68.6%増加)、スレート関連は8億31百万円(前期比8.5%増加)、肥料(マインマグ)は1億10百万円(前期比72.4%減少)となったこと等から、当連結会計年度の売上高は209億75百万円(前期比2.1%増加)となりました。

利益面については、原材料・エネルギー価格高騰の影響等により、営業利益は10億7百万円(前期比45.5%減少)、経常利益は11億47百万円(前期比42.3%減少)、親会社株主に帰属する当期純利益については、訴訟損失2億34百万円や製品自主回収関連費用2億4百万円を計上したこと等により4億86百万円(前期比71.6%減少)となりました。

◀ 今後の見通し ▶

建築材料業界におきましては、不確実性の高まる国内経済を背景として、建築需要の動向や製造資材コストの高止まり等、依然として厳しい状況が続くと見込まれます。

このような状況のなか、競合製品との差別化を図るべく、差別化戦略の推進による顧客満足度の向上により基幹事業を拡大、環境対応パネル、超高層向けパネル、素地ボードなど当社独自の高付加価値商品の積極的・戦略的な営業展開により、収益拡大を図ってまいります。

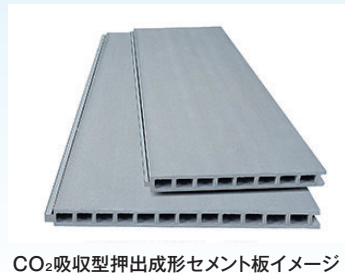
利益面では、原材料・エネルギーの使用効率向上等コストダウン活動の推進に加え、資源高騰に耐えうる体制とするため、製造現場全体の人材育成を図り、改善力を向上させ、利益確保につなげてまいります。

2024年3月期の連結業績は、売上高215億円、営業利益11億50百万円、経常利益12億円、親会社株主に帰属する当期純利益7億30百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

環境(Environment) —カーボンニュートラルの実現—

NEDO グリーンイノベーション基金事業「CO₂を用いたコンクリート等製造技術開発プロジェクト」を実施するコンソーシアム「CUCO(クーコ)」※に参画し、CO₂固定化コンクリート技術を活用したCO₂吸収型押出成形セメント板の製品化技術開発に着手しました



CO₂吸収型押出成形セメント板イメージ

当社が取り組む技術開発は、製造工程におけるCO₂排出量の削減とCO₂固定量を最大化させたカーボンネガティブコンクリートを原料に使用したCO₂吸収型押出成形セメント板を量産化できる製造技術の確立を目指すものです。
当社は、CUCOの一員として、CO₂活用にもけた技術開発を進め、社会実装していくことで、地球温暖化対策に積極的に貢献していきます。

※鹿島建設株式会社、デンカ株式会社、株式会社竹中工務店を幹事会社とする55の企業・大学・研究機関によるコンソーシアム

温室効果ガス削減目標がSBTイニシアチブの認定を取得しました

当社は、2030年に向けた当社の温室効果ガス削減目標が、パリ協定に整合した科学的に根拠ある水準であると認められ、2022年12月に「SBTイニシアチブ(Science Based Targets initiative)」の認定を取得しました。

温室効果ガス削減目標

2030年度**50%削減**(2018年度比)



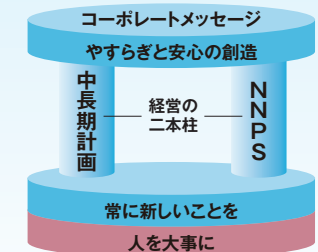
社会(Social) —人的資本—

いつも社員の能力向上を図り
その能力を100%発揮して
常に新しいことを追求・実践

「やすらぎと安心の創造」の実現

人を大事に

当社のコーポレートメッセージ「やすらぎと安心の創造」を支えるのが、中長期計画とNNPSの2本柱です。
そしてその土台となるのが、創業来の遺伝子「常に新しいことを」「人を大事に」の2つです。



創業者の言葉

“およそ事業の根源は人であり
外に顕れた業績は
すべてその光に外ならない”

業績は社員の努力の結晶

社員を大事に育てること

会社の発展

社員のパフォーマンスを上げることが会社の発展へ

①能力を100%発揮できる環境づくり

○人事制度改革に着手 ・定量的評価による公正な評価制度

社歴に関係なく昇進昇格
評価に見合った給与

②能力自体を向上するような人財育成 能力を100%→120%

○教育制度改革に着手 ・個人の能力に応じたスキルアップ教育

個人が満足できる
スキルアップ

○会社の未来を創るのは社員全員 = 全員参加型の経営

・社長巡回

社員の意見を経営に反映

・社長塾

これからのノザワを担う
若手へ当社の考えを伝承

ノザワのサステナビリティの取り組みをご紹介します。

新聞古紙を外壁材の素材の一部に再生

新聞古紙を外壁材の素材の一部に再生することで、製品の形をバランスよく保ち、資源リサイクルにも寄与しながら、高品質で、環境にやさしい製品づくりを行っています。

2023年3月3日の「神戸新聞」朝刊に当社のSDGsの取り組みが紹介されました。



兵庫県立大学にて野澤社長が講義を行いました



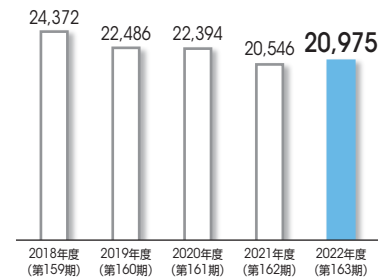
2022年12月16日、みなと銀行・兵庫県立大学連携講座「地域企業の戦略と経営」の講師として、当社の野澤社長が国際商経学部、経済学部、経営学部の学生に講義を行いました。テーマを「創業125年 やすらぎと安心の創造」とし、125年の歩みを「旧十五番館の歴史」を交えながら、コーポレートメッセージ「やすらぎと安心の創造」に込めた思いと経営理念、取り組み、将来展望等について講義しました。ノザワの創業来の遺伝子「常に新しいことを」と「人を大事に」の精神から、学生の皆様が自身の将来について思いを馳せる機会になれば幸いです。

売上高

20,975 百万円

前期比 2.1% 増

(百万円)

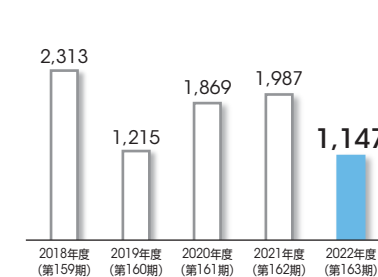


経常利益

1,147 百万円

前期比 42.3% 減

(百万円)

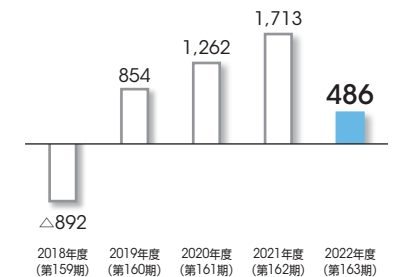


親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)

486 百万円

前期比 71.6% 減

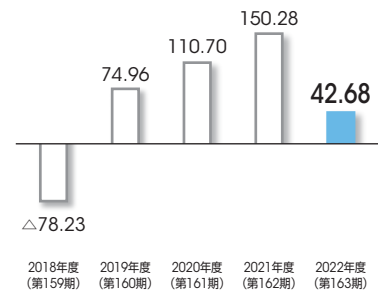
(百万円)



1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)

42.68 円

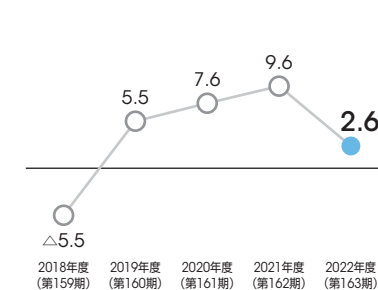
(円)



自己資本当期純利益率

2.6 %

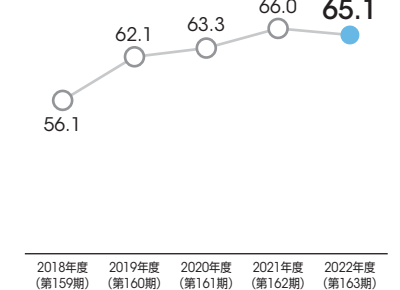
(%)



自己資本比率

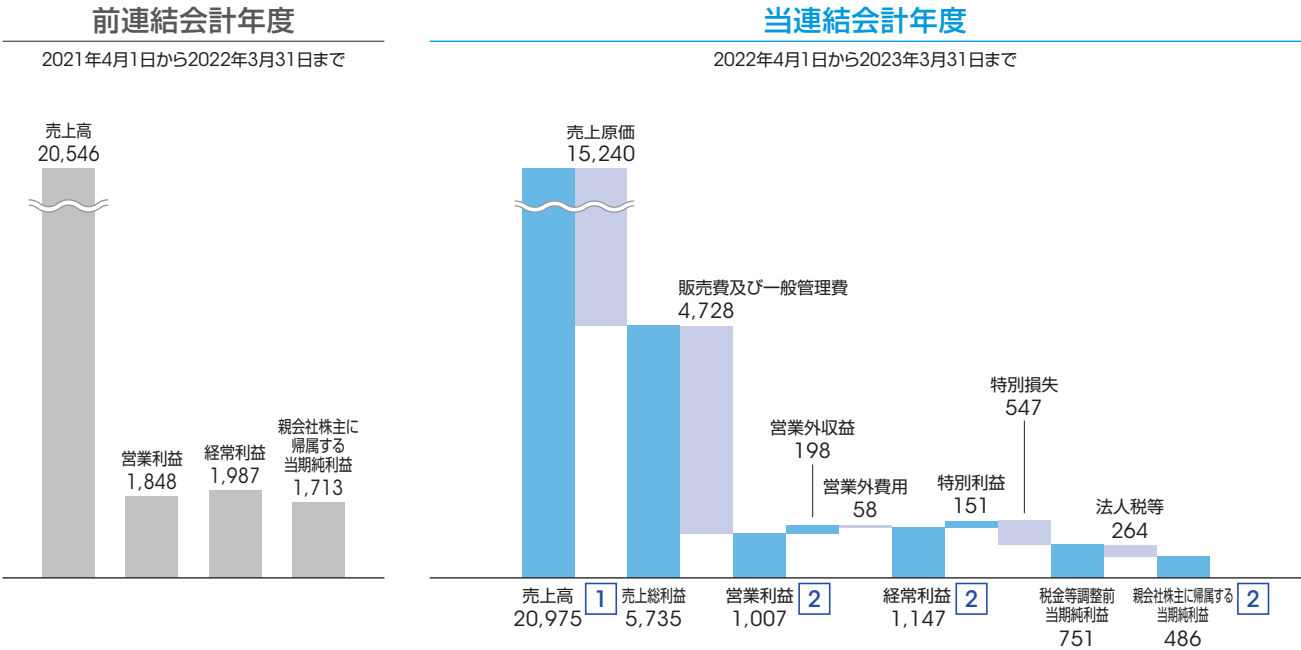
65.1 %

(%)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



POINT

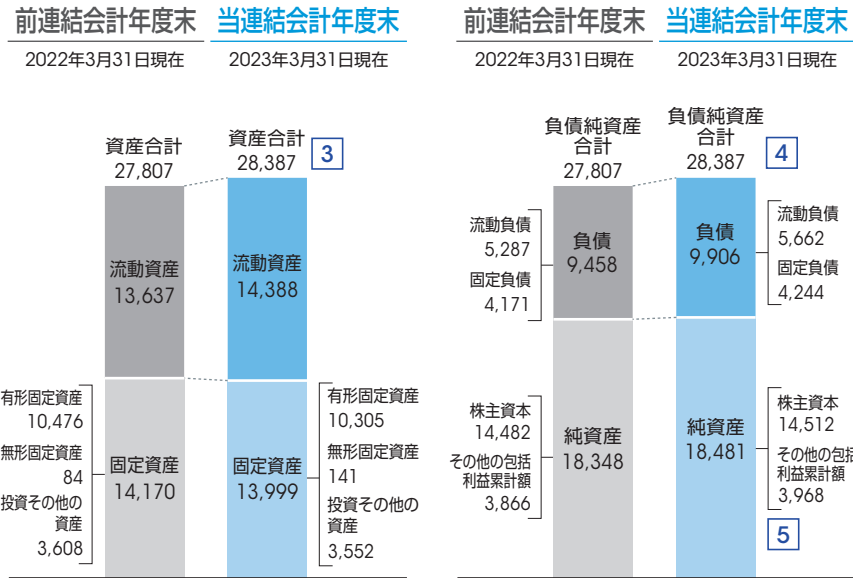
1 売上高の状況

品種別売上高については、主力の押出成形セメント板「アスロック」は101億19百万円（前期比12.6%減少）。住宅用高遮音床材は18億52百万円（前期比4.1%増加）、住宅用軽量外壁材は36億82百万円（前期比31.4%増加）、住宅向け合計で9億52百万円増収の55億34百万円（前期比20.8%増加）となり、押出成形セメント製品合計では156億54百万円（前期比3.1%減少）に、耐火被覆等は16億34百万円（前期比68.6%増加）、スレート関連は8億31百万円（前期比8.5%増加）、肥料（マインマグ）は1億10百万円（前期比72.4%減少）となったことから、当連結会計年度の売上高は209億75百万円（前期比2.1%増加）となりました。

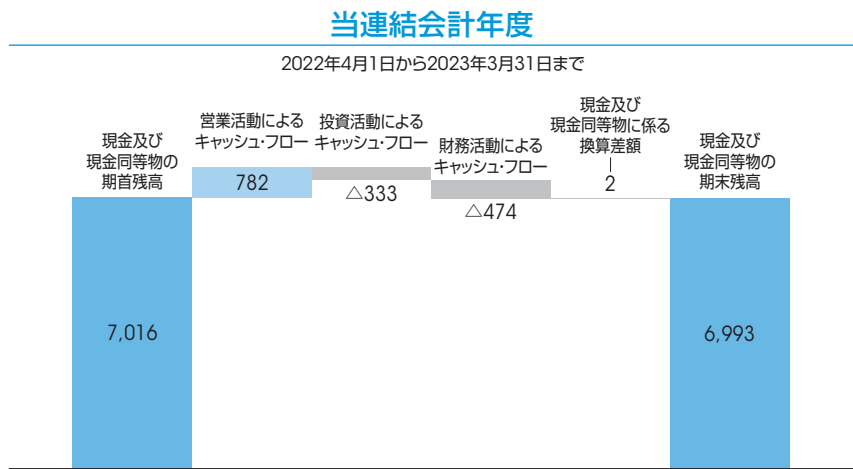
2 利益の状況

NNPS（ノザワ・ニュー・プロダクション・システム）改善活動によるコストダウン、製品価格改定効果及び物流費の抑制等の増益要因があったものの、原材料・エネルギー価格高騰の影響等により、営業利益は10億7百万円（前期比45.5%減少）、経常利益は11億47百万円（前期比42.3%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益については、訴訟損失2億34百万円や製品自主回収関連費用2億4百万円を計上したこと等により4億86百万円（前期比71.6%減少）となりました。

連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



POINT

3 資産の状況

「有形固定資産」が1億71百万円、投資その他の資産の「その他」が1億5百万円、「現金及び預金」が22百万円減少したものの、「受取手形、売掛金及び契約資産」が6億37百万円、「商品及び製品」が51百万円増加したこと等から、「資産合計」は前連結会計年度末に比べ5億80百万円増加し283億87百万円となりました。

4 負債の状況

「退職給付に係る負債」が1億29百万円、「未払法人税等」が77百万円減少したものの、「支払手形及び買掛金」が4億3百万円、「訴訟損失引当金」が2億34百万円増加したこと等から、「負債合計」は、前連結会計年度末に比べ4億48百万円増加し99億6百万円となりました。

5 純資産の状況

「その他有価証券評価差額金」が65百万円、「退職給付に係る調整累計額」35百万円、「利益剰余金」30百万円増加したこと等から「純資産合計」は1億32百万円増加し184億81百万円となりました。

6 連結キャッシュ・フロー計算書の状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権6億75百万円、法人税等の支払額4億16百万円等の資金の減少要因があった一方、税金等調整前当期純利益7億51百万円、減価償却費6億94百万円の資金の増加要因があったことから7億82百万円の増加となりました。
投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却により2億31百万円の増加があった一方、有形固定資産の取得5億53百万円の支出等により3億33百万円の減少となりました。
財務活動によるキャッシュ・フローは、主に親会社による配当金の支払等により4億74百万円の減少となりました。この結果、現金及び現金同等物の期末残高は69億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円の減少となりました。

会社概要 (2023年3月31日現在)

社 名 株式会社ノザワ
NOZAWA CORPORATION

創 業 1897年8月17日

設 立 1913年9月28日

資 本 金 24億4,900万円

従業員数 358名（連結）

子 会 社 株式会社ノザワ商事
株式会社ノザワトレーディング
野澤貿易（上海）有限公司

役員 (2023年6月29日現在)

代表取締役社長 野 澤 俊 也

専 務 取 締 役 三 浦 竜 一

常 務 取 締 役 米 田 剛

常 務 取 締 役 邑 橋 将 男

常 務 取 締 役 松 村 正 昭

取 締 役 濱 本 康 二

取 締 役 藤 井 邦 彦

社 外 取 締 役 小 鹿 彦 太

社 外 取 締 役 吉 田 裕 樹

常 勤 監 査 役 金 井 一 弘

社 外 監 査 役 吉 田 眞 明

社 外 監 査 役 小 川 佳 男

ネットワーク (2023年3月31日現在)

●本社 〒650-0035 神戸市中央区浪花町15番地 TEL 078-333-4111(代)

●支店・営業所

札幌支店 札幌市中央区大通西1-14-2（桂和大通ビル50）

仙台支店 仙台市青葉区一番町2-8-15（太陽生命仙台ビル）

東京支店 東京都中央区新川1-4-1（住友不動産六甲ビル）

名古屋支店 名古屋市中区錦2-4-15（ORE錦2丁目ビル）

北陸営業所 金沢市本町1-5-1（リファール）

関西支店 神戸市中央区浪花町15番地

広島支店 広島市中区小町3-25（三共広島ビル）

松山営業所 松山市大手町2-9-4（石丸ビル）

九州支店 福岡市博多区博多駅前1-4-4（東京建物博多ビル）



北陸営業所

関西支店

播州工場

高砂工場

広島支店

九州支店

本社

東京支店

名古屋支店

松山営業所

●研究所

技術研究所 埼玉県深谷市折之口1851-4

●工場

フラノ事業所 北海道富良野市山部東町4-1

埼玉工場 埼玉県比企郡吉見町長谷1947

播州工場 兵庫県加古郡播磨町古宮字小谷102-1

高砂工場 兵庫県高砂市高須1-1

●海外関連会社

野澤貿易(上海)有限公司
中国上海市長寧区天山路8号 上海兆益科技园 702B室

(2023年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 30,000,000株

発行済株式の総数 12,075,000株

株 主 数 3,859名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社三井住友銀行	567	4.97
神栄株式会社	486	4.26
ノザワ取引先持株会	438	3.84
日本生命保険相互会社	436	3.82
損害保険ジャパン株式会社	398	3.49
C B C 株式会社	301	2.64
日工株式会社	284	2.49
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	262	2.30
株式会社トクヤマ	262	2.30
ノザワ従業員持株会	240	2.11

(注) 持株比率は自己株式（673,135株）を控除して計算しております。

ホームページのご案内



URL <https://www.nozawa-kobe.co.jp>

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に
わかりやすい情報発信に努めてまいります。



URL <https://www.asloc.co.jp>

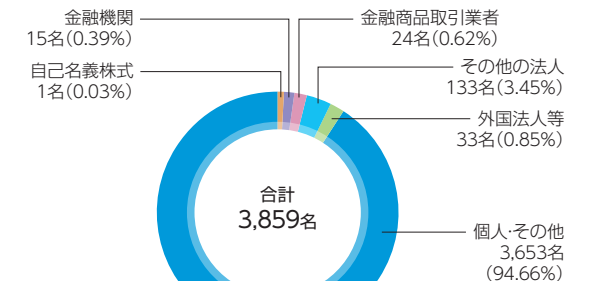
押出成形セメント板「アスロック」の特設サイトです。



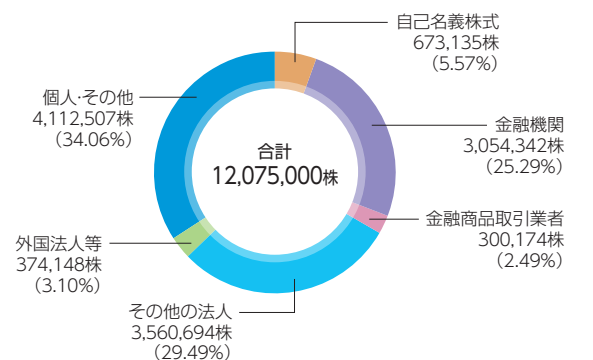
URL <https://www.nozawa-kobe.co.jp/alcus/>
超高層建築向けカーテンウォール「アルカス」の特設サイトです。

株式分布状況

所有者別株主数



所有者別持株数



アスロック公式SNSのご案内



アスロック公式Instagram

アカウント名: @asloc_official



YouTubeアスロック公式チャンネル

チャンネル名: アスロック公式チャンネル



URL: https://www.instagram.com/asloc_official/

URL: <https://www.youtube.com/channel/UCMtr-PyR5pQQd8MVRzFeVIQ/>